



お茶ナビ サロン

お茶ナビゲートでは毎月1回、各分野で先駆的でユニークな、そして本質的な活動をしている方を講師にお招きして、大人が知的に愉しめる学びの場「お茶ナビサロン」を始めます！



第1回 「佐藤正実さん：街の『オモイデ』を語り継ぐ —市民目線の地域アーカイブと震災アーカイブ—

第1回は、宮城県仙台を拠点に、古地図や古写真、絵葉書など地域文化資料を活用して、古き仙台を考え、知る活動を展開している佐藤正実さんにご登壇いただきます。

地図や写真をプロではない市民目線で観て、地域の歴史や魅力を親しみやすく発信する地域誌「風の時」を発行。現在は、市民とともに震災を記録する「3.11 オモイデアーカイブ」を立上げ、被災地での定点観測や、アーカイブを活用して被災前の歴史をたどり津波で流された街々が重ねてきた「オモイデ」を再構築する取り組みなどをされています。

地域アーカイブと震災アーカイブの連続性、未来を語るために市民が参加するアーカイブの模索、そしてアーカイブを基点にして想起される地域のいとなみを編集するという仕事について、お話しいたします。

● ゲストプロフィール

佐藤 正実

さとうまさみ

1964（昭和39年）生、風の時編集部代表、NP020 世紀アーカイブ仙台副理事長、3.11 オモイデアーカイブ代表



2005年5月～ “仙台の原風景を観る、知る。”をテーマに、フリーペーパー「風の時」14刊を発行。翌年「昭和3年版仙台市全図復刻版」を初出版。その後、仙台の古写真集や復刻地図などを企画し、現在まで26作を発行。2009年、大正・昭和時代の仙台の映像・写真・音楽を保存しするためNPO法人20世紀アーカイブ仙台を3社で設立。震災後は「3.11 アーカイブ」を開始。2013年度より仙台市震災メモリアル・市民協働プロジェクトに参画し、「3.11 オモイデアー」を企画。

定員 30名

日程 2016年8月27日(土)
14:00～16:00

参加費 1,000円

お申し込み方法

Peatix または、お茶ナビゲートのカウンターよりお申し込みください。ご不明な点があればお茶ナビゲートホームページの「お問い合わせ」よりお問い合わせください。

● Peatix

<http://ochanavi-salon-160827.peatix.com/>

● お茶ナビゲート

<http://ocha-navi.solacity.jp>



お茶ナビゲート

東京都千代田区神田駿河台 4-6 御茶ノ水ソラシティ B1F